

佐野短期大学シラバス2014

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
フランス語 I		1年・2年	前期・後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態		授業の性格	履修上の制限
1単位	講義		選択	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
フランス語 II (生活と文化)				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
加藤				授業中に指示します
授業の概要				
フランス語 I では、すぐに使える実用的なフランス語の基本会話を学びます。まずはアルファベットの読み方やあいさつから。"Bonjour (ボンジュール)!" "こんにちは"、"Au revoir (オルヴォワール)!" "さようなら" がすぐに口から出てくるように練習していきます。必要な文法や語彙は最小限に抑えて、楽しくフランス語を学習しましょう。いつかフランスへ行ってみたい! フランス語で話してみたい! そういう気持ちで積極的に学んでほしいと思います。				
授業の目標				
①会話をする場合にも文法は必要となってきますが、それは必要最低限なものに留めて、フランス語の特徴を少しずつ覚えながら基本的な会話が「話せる」ようにする。 ②会話に出てくる身の回りの単語や数字などを覚え、会話力に磨きをかけられるようにする。 ③語学レベルとしては、仏検 5 級同等程度を習得できるようにする。				
授業の方法				
授業では毎回プリントを配布しますが、プリントは各回とも基本的な単語や基本表現中心の内容になっていますから、1回1回の積み重ねで無理なく学習していけるようになっています。また実際使われているフランス語を通してフランス文化の理解につながっていくように、教材用DVDやCDの他に、映画、音楽 (chanson)、フランスで人気の日本のまんが (manga) などを紹介しながら生きたフランス語を学ぶようにします。				
学習の成果 (学習成果)				
この授業を履修すると、 ①フランス語基礎会話力を習得することができるとともに、会話力を通して全般的なコミュニケーション能力を高めることができる。 ②フランス文化を学習して行く中で、一般教養を磨くことができる。 ③フランス語検定5級を受験することが可能なフランス語力を身につけることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	アルファベットの読み方 [数字1-10]			
第2回目	あいさつ① (こんにちは/元気?/さようなら) [曜日]			
第3回目	「はい」と「いいえ」[月]			
第4回目	「私の名前は～です」「私は～です」[国籍・職業・身分]			
第5回目	あいさつ② (ありがとうございます/すみません) [数字11-20]			
第6回目	「これは何ですか?」「これらは何ですか?」[男性名詞と女性名詞]			

第7回目	「～を持っていますか?」「～はありますか?」[身の回りの名詞①]		
第8回目	「～をお願いします」「おいくらですか?」[身の回りの名詞②]		
第9回目	「サイズはいくつ?」「～です」[身の回りの名詞③]		
第10回目	「どうぞ召し上がれ!」「これはおいしい!」[数字21-50]		
第11回目	「～は好きですか?」「私は～が好きです」[食べ物や飲み物の名詞①]		
第12回目	「私は～があまり好きではありません」「私は～が嫌いです」[食べ物や飲み物の名詞②]		
第13回目	「今何時ですか?」「～時～分です」[数字51-100]		
第14回目	「どこに住んでいますか?」「～に住んでいます」 試験		
第15回目	フランス語基礎会話力の総まとめ		
成績評価の方法と基準			
	評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度		20%	授業に集中し、質問されたことに積極的に答えようとしているか、また正確な発音を出そうとしているかを主な評価対象とします。授業中の積極的な授業態度を評価します。
レポート			
調査報告書			
小テスト			
試験		70%	筆記試験 (100点満点)
発表内容 (態度含む)			
その他		10%	出席点を評価します。休まないようにすること。
教科書と参考図書			
毎回教材用のプリントを配布します。			
履修上の留意点・ルール			
授業中はできるだけ大きな声を出して練習して下さい。積極的な態度を評価します。			